

臨床腫瘍夏期集中セミナー

日時：2000年7月24日(月)～28日(金) 9:00～17:00

会場：JAビル8F 国際会議室 TEL：03-3245-7471

直近入口：営団地下鉄丸の内線 大手町駅出口A3

参加費：1日 2000円(学生 無料)

プログラム

7月24日(月)	9:05～10:20	抗癌剤(臨床に用いる)の種類と特徴	塚越 茂(癌研究会癌研究所 顧問)
	10:35～11:50	新しい癌治療薬の研究—21世紀へ向けて	鶴尾 隆(東京大学分子細胞生物学研究所 所長)
	12:45～14:00	癌臨床試験と生物統計学	大橋 靖雄(東京大学医学系研究科健康科学・看護学専攻生物統計学 教授)
	14:15～15:30	癌の遺伝子治療の現状	浅野 茂隆(東京大学医科研先端研究センター センター長)
	15:45～17:00	Biochemical Modulation—併用療法における新しい考え方	小西 敏郎(NTT関東病院外科 部長)
25日(火)	9:00～10:15	癌治療薬の効果判定法—新しい提案を含め	西條 長宏(国立がんセンター中央病院放射線治療部 部長)
	10:30～11:45	病期と組織型からみた治療の選択 婦人科癌	落合 和徳(東京慈恵医科大学婦人科 教授)
	12:45～14:00	BRM系物質と癌免疫療法の現状と将来	峠 哲哉(広島大学医学部原医研腫瘍外科 教授)
	14:15～15:30	癌治療における外科療法の展望	佐治 重豊(岐阜大学医学部第二外科 教授)
	15:45～17:00	臨床試験の進め方	佐々木康綱(国立がんセンター東病院 医長)
26日(水)	9:00～10:15	抗癌剤の副作用と薬物有害反応(CTC)	渋谷 昌彦(日本医科大学第4内科 助教授)
	10:30～11:45	癌治療における放射線療法の展望	新部 英男(前 群馬大学医学部放射線医学 教授)
	12:45～14:00	病期と組織型からみた治療の選択 脳腫瘍	野村 和弘(国立がんセンター中央病院 副院長)
	14:15～15:30	病期と組織型からみた治療の選択 消化器癌(肝・胆・膵)	岡田 周市(国立がんセンター中央病院肝胆膵内科 医長)
	15:45～17:00	QOL、支持療法	小林 国彦(埼玉県立がんセンター呼吸器科 医長)
27日(木)	9:00～10:15	腫瘍随伴症候群	堀越 昇(癌研究会附属病院化学療法科 部長)
	10:30～11:45	病期と組織型からみた治療の選択 頭頸部腫瘍	犬山 征夫(北海道大学医学部耳鼻咽喉科学 教授)
	12:45～14:00	病期と組織型からみた治療の選択 泌尿器癌	赤座 英之(筑波大学臨床医学系泌尿器科学 教授)
	14:15～15:30	病期と組織型からみた治療の選択 消化器癌(食道)	大川 智彦(千葉西総合病院放射線治療センター センター長)
	15:45～17:00	病期と組織型からみた治療の選択 皮膚悪性腫瘍	石原 和之(昭和大学 客員教授)
28日(金)	9:00～10:15	病期と組織型からみた治療の選択 造血器リンパ節腫瘍	溝口 秀昭(東京女子医科大学血液内科学 教授)
	10:30～11:45	病期と組織型からみた治療の選択 乳癌	富永 健(昭和大学附属豊洲病院乳癌検診治療センター 教授)
	12:45～14:00	病期と組織型からみた治療の選択 骨軟部腫瘍	別府 保男(国立がんセンター中央病院整形外科 医長)
	14:15～15:30	病期と組織型からみた治療の選択 消化器癌(胃・腸)	栗原 稔(昭和大学附属豊洲病院消化器科 教授)
	15:45～17:00	病期と組織型からみた治療の選択 肺癌	西脇 裕(国立がんセンター東病院臨床検査部 部長)

●日本医師会生涯教育講座として東京都医師会認定による日本医師会生涯教育研修の修了証を1日につき3単位取得できます。

後援：日本癌治療学会、東京都医師会、がん薬物療法研究会

協賛：アストラゼネカ、アベンティス ファーマ、協和発酵工業、グラクソ・ウェルカム、三共、スミスクライン・ビーチャム製薬、住友製薬、第一製薬、大鵬薬品工業、武田薬品工業、中外製薬、日本イーライリリー、日本化薬、日本ロシュ、日本ワイスレダリー、藤沢薬品工業、プリストル・マイヤーズ スクイブ、ヤクルト本社、山之内製薬

申込連絡先：受講希望の方は、はがき又はFAXで住所、氏名、電話(FAX)番号明記の上、7月20日までに下記にお申し込み下さい。
(株)協和企画 国際営業部 東京都港区新橋2-20-15 (電話 03-3571-3115、FAX 03-3571-1076)

主催・企画：東京がん化学療法研究会 共同企画：(株)協和企画